

◆ニックネーム・グループ名（人数）

加藤孝規とその愉快的な仲間たち（5人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 登下校におけるAEDの位置

活動の動機

私たちが住む愛知県は、全国で最も交通事故が多い県の一つです。そこで、もし事故にかかわることがあった時に、人の命を救う行動がとれる人が1人でも増えるといいと思いました。



取組・活動 実施日

令和3年7月22日

ゴール

11 16

解決したい地域の課題

愛知県は、全国で交通事故が最多で死亡者数もとても多いです。そこで、私たちは死亡者数に着目し、交通事故後すぐに救助活動に移行して生存率をあげることができるように備えておくということを課題にしました。

目指す将来の姿

目の前で人が倒れていても、すぐに対処できるようにAEDの場所、使い方を認知しておくことが大切です。今はAEDの研修を行っている学校が多く、AEDの使い方を知っている学生が増えてきています。しかし、AEDの場所を知っている学生は5割と少ないです。知識を無駄にしないよう場所も把握しておくことが大切です。

活動の内容

学校から豊橋駅までにあるAEDの場所を調べました。今、ネットで調べればAEDの場所がわかるサイトもある中、自分たちの足で実際に赴き、自分たちの目でAEDのある場所を確認することで、AEDの認知度が低い以外の問題を見つけました。また、自分たちで学年にAEDに関するアンケートを取りました。その結果、高校生目線でのAEDの認知度、AEDに関する関心など、様々な問題をグラフに表すことができました。